

■ 建設業を取巻く現状や建設現場でドローンを実践的に活用する方法について学びました。



「現場のICT化の推進」として、i-Constructionや生産性向上における一つのツールとして注目を集めるドローンの活用法やその知識を学ぶとともに、デモ飛行を通じて操作における注意点等を学びました。

- 1 日時 令和元年8月30日（金）
- 2 場所 サンレイラ岐阜 3階 大ホール
（岐阜市藪田東1-2-2）
- 3 対象者 岐阜県内に本店が所在する建設関連企業の経営者～現場代理人等
- 4 参加者 25社 39名
- 5 内容

時 間	研 修 内 容	講 師
9:30 - 10:00	（受付）	
	「ドローンとi-Construction ～現場のICT化の推進～」	
10:00～10:30	i-Constructionで求められるものと周辺知識	有限会社南開建設 現場代理人 安谷屋竜也氏 NPO法人京都情報 研修センター理事/株式会社 GSuccess 代表取締役 北野雅史氏
10:30～11:00	ICTのスタートに立つための事前準備・環境・考え方	
11:00～12:00	ドローンで得られるメリット（効率化とその他）	
12:00～13:00	（昼食）	
13:00～14:30	土木現場（沖縄・宮古島）の現状とドローンを使用した対策	
14:30～15:15	実機フライト（講師によるデモ飛行）	
15:15～17:00	ドローンの現場での誤った利用例	
17:00	閉講、アンケート	

- 6 主催 建設ICT人材育成センター（（公財）岐阜県建設研究センター内）
- 7 CPDS 6ユニット（認定講習）

8 研修状況



講師
(左) NPO法人京都情報研修センター理事 北野雅史氏
(右) (有)南開建設 現場代理人 安谷屋 竜也氏



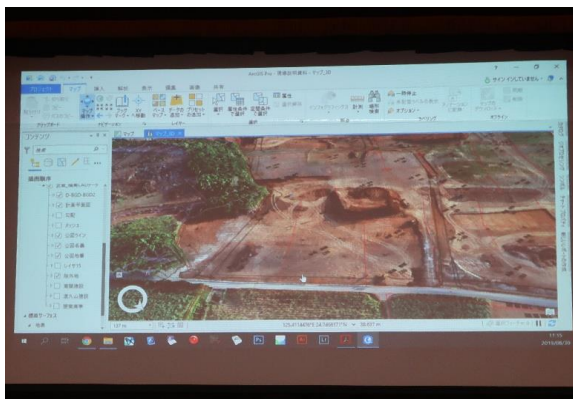
建設業を取巻く現状として、i-Constructionで求められるものやその周辺知識について学びます。



ドローンを建設業でどのように活用するのか、また活用するメリット（測量作業の効率化、作業の安全性の確保等）について学びます。



実際に建設現場でドローンを活用するうえで、必要な知識（カメラの設定やGPS等）について学びます。



ドローンで測量した写真をPCでデータ処理する方法を学びます。講師が実際にその場で処理ソフトを使用し、3次元データを作成しました。



デモ飛行を通じて、ドローンの操作方法や、よくある失敗例、注意点について学びます。

9 受講者の感想

- ・現場でドローンを使用するメリット、デメリットを聞いた所が良かった
- ・実際に現場で活用している人の話が聞けて良かった
- ・ドローン測量について表面的にしか理解していなかったが、基礎的な知識を得ることができた
- ・ドローンを使用しての測量データができるまでの流れが良く分かった。購入を会社に薦めたい
- ・プログラムの詳細な使い方、カメラの設定等、深いところまで説明してもらえた
- ・写真撮影の仕方がわかりやすかった
- ・写真解析ソフトや点群処理ソフトを一度操作してみたかった

以上